

今週の株式相場見通し

* 日経平均 29,600~30,800円 TOPIX 1,900~1,980

* 期待材料 新型コロナの感染抑制に伴う経済活動の正常化 追加経済対策の早期成立

* 不安材料 米10年債金利の急上昇 資源価格の高騰 新型コロナ変異種の感染拡大

バイデン大統領が掲げる1.9兆ドルの追加経済対策について、米下院に続き上院でも予算案が可決され、優先事項の迅速手続きが可能となり、過半数で政策を通せる「財政調整法」が活用できることになった。これにより経済対策を民主党単独で成立させることが可能となり、失業保険給付上乘せ措置が失効する3月半ばまでに成立するとの見方が広がり、米国市場は買いが先行した。また、米疾病対策センターによると、2月9日時点で人口の約1割に当たる3,200万人がコロナワクチンの接種を受けたとされ、ワクチン接種ペースが加速すれば、経済正常化が早まるとの期待も市場を後押しした。これを受けWTI原油先物が昨年1月以来の高値となったほか、銅価格が2012年以来の高値になるなど、エネルギーや鉱業、素材などコロナ禍で回復が遅れていた景気敏感株に加え、米10年債金利の上昇で銀行株が物色され、ダウ、ナスダック、S&Pの主要指数は過去最高値を更新した。また1月末から2月初旬に個人投資家による掲示板型SNS「レディット」を利用したゲームストップ社などへの投機的な買いが落ち着いたこともプラスに作用した。前週は世界の景気敏感株である日本市場も大きく上昇した。日経平均の予想PERは株価上昇に伴い1月中旬に26倍台まで上昇していたが、4月~12月期決算発表が本格化し、通期業績を上方修正する企業が増えたため、日経平均の予想EPSは16日時点で1,310円と1月4日に比べ2割近く増えたことで、日経平均は3万円台に乗せるも予想PERは23.24倍と昨年11月の水準まで低下となり、業績に裏打ちされ割高感が和らいだことも買い安心感に繋がった。また、相場の過熱度を計る指標の一つである騰落レシオは一般的に使われる25日平均で、120%を超えると相場は過熱、70%を下回ると売られ過ぎとされており、東証一部の同レシオは2月9日から3日営業日連続で120%を超えたことが注目されたが、120%を超えた回数は昨年5月に10営業日、6月は150%を上回った日を含め9営業日あった。以上を考慮すると直近の日経平均の上昇は昨年の上昇局面に比べ割高感、過熱感が数字上ではそれほど高くないと言える。米国で新規コロナ感染者数減に加え国内でもワクチン接種が始まり、コロナ収束後の経済正常化を見据えた期待が高まっている。(2月18日現在、志田 憲太郎)

今週の予定

	国内	海外
2/22(月)	1月の主要コンビニ売上高	[独]2月IFO企業景況感指数(18:00)
23(火)	天皇誕生日	[米]2月消費者信頼感指数(24:00)
24(水)	2月決算権利付き最終日	[米]1月新築住宅販売件数(24:00)
25(木)	アピリッツ(4174)JASDAQ新規上場 ジェイベース(5073)TOKYOPRO新規上場	[米]1月耐久財受注(22:30) [米]10-12月期GDP改定値(22:30)
26(金)	1月鉱工業生産(8:50) coly(4175)東証マザーズ新規上場 室町ケミカル(4885)JASDAQ新規上場	G20財務相・中央銀行総裁会議(~27日) [印]10-12月期GDP(21:00) [米]1月個人消費支出(22:30)
27(土)	Pokemon Day	[ドミニカ共和国]独立記念日
28(日)	びわ湖毎日マラソン	[中]2月製造業・非製造業PMI(16:00)

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきます。ご確認の程、宜しくお願い致します。

2021年2月22日

今週の参考銘柄 富士電機 (6504) 東証1部



	19年03月期 (百万円)	前年比	20年03月期 (百万円)	前年比	21年03月期(予) (百万円)	前年比	株価(2/18)	4,535 円
売上収益	914,915	2.4%	900,604	-1.6%	860,000	-4.5%	業種	電気機器
営業利益	59,972	7.2%	42,515	-29.1%	41,000	-3.6%	時価総額	6,771 億円
経常利益	63,479	13.3%	44,513	-29.9%	42,500	-4.5%	PER(予想)	19.60 倍
当期純利益	40,267	6.6%	28,793	-28.5%	33,000	14.6%	PBR(実績)	1.69 倍
EPS(円)	281.89		201.57		231.03		ROE(実績)	8.01 %
配当金(円)	48		80		40		配当利回り(予想)	1.76 %
							担当	松本 直志

出所: 業績に関する数値は決算短信より

変圧器や整流器、発電所向け水車、火力発電向けタービン、自販機、インバータ、FA 向けコントローラ、パワー半導体など幅広く事業を展開。19年度のセグメント別営業利益の構成比はモータ、インバータなどのFA製品や鉄道車両用システム、ITソリューションなどパワエレシステムインダストリーが34.8%、データセンターソリューション、電力流通、変電、無停電電源装置などパワエレシステムエネルギーが25.9%、パワー半導体など電子デバイスが20.5%、自販機やコンビニなど店舗向け冷凍冷蔵ショーケースなど食品流通が8.0%、水力、火力、地熱など発電プラントが4.9%、その他5.7%になっている。

21年3月期3Q累計決算は前年同期比8.2%減収、16.4%営業減益。新型コロナの影響で自販機やコンビニ向け店舗設備の売上が落ち込み減収減益になったが、電動車向けパワー半導体の需要増や中国向けFA機器の回復、GIGAスクール案件の獲得、コスト削減効果で、3Qは前年同期比54.4%営業増益となり増益転換。パワー半導体の特定分野向け一部製品の不具合対策費用として167億円を特別損失に計上したが、有価証券売却益を計上することで、通期の純利益計画は増益での着地を見込んでいる。不具合によるビジネスへの影響は特に出していないとしている。

パワー半導体の3Q受注高は自動車向けがけん引し前年同期比30%増加。自動車向けの受注は前年同期比64%増、EVやハイブリッド車向けの需要が国内外から集まり、電動車向け受注は約2倍に拡大。4Qの電動車向け受注も前年同期比80%強増える見通し。中国など世界各国で電動化の流れが加速しており、工場の稼働率が上がり収益性も改善。需要増に応えるため生産能力の増強を進めており、来期もパワー半導体事業は好調に推移することが見込まれる。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願ひ致します。

説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(2/18)	コメント
GMO ペイメント ゲートウェイ (3769) 東証1部 15,840円	21年9月期1Q決算は前年同期比28.5%増収、48.3%営業増益。オンライン決済の拡大により、決算代行の処理件数が前年同期比51.5%増、決済処理金額は43.7%増と好調に推移。物販やデジタルコンテンツ、デリバリー、ふるさと納税などの決済に加えて、GoToトラベルキャンペーンも奏功し旅行関連の利用も拡大。後払いや早期入金サービス、キャッシュレス端末の販売も増加しており、デジタルシフトも追い風に業績は順調に推移している。(松本 直志)
そーせい (4565) 東証マザーズ 1,872円	20年12月期通期決算は前年同期比9.1%減収、営業利益は2.4倍、税引前利益は3.0倍、最終利益は3.3%増だった。通期で2期連続の黒字となった。コロナの影響を受けたものの、20年は新たに英製薬大手GSK社など3社と提携をしたことで、契約一時金やマイルストーン収入が増加し小幅減収に留まり、研究開発費を提携先が負担する契約を結んだことからコストが下がり大幅増益となった。今期も同程度の水準の利益となれば東証1部昇格基準を満たす。(志田 憲太郎)
デンソー (6902) 東証1部 6,728円	21年3月期3Q決算は前年比12.3%増収、前年に品質関連費用を420億円計上していたことがあり営業利益は4.7倍、2Q比では9.5%増収、2Qにも品質関連費用460億円計上したこともあり営業利益は3.7倍。なお、3Qは売上高、営業利益共に四半期として過去最高を更新。通期業績計画を上方修正。4Qについては2Q決算発表時点の想定を据え置いたうえで、3Qの社内計画に対する上振れ分を反映させたとしている。通期業績の再増額と来期業績の増益に期待したい。(多功 毅)
イリソ電子 (6908) 東証1部 5,110円	21年3月期3Q決算は前年比9.2%増収、25.4%営業増益、2Q比で17.5%増収、営業利益は2.8倍。3Qについては、主力の車載用コネクタが前年比7.0%増収(2Q比20.4%増収)と回復局面が継続したことに加えて、TV、ゲーム機向けを中心に好調に推移したコンシューマー用途が33.4%増収(同4.1%増収)、中国のFA関連向けに伸びたインダストリアル用途が4.1%増収(同6.1%増収)と堅調に推移した。通期計画を上方修正。パワートレイン、セーフティ関連の成長継続に期待したい。(多功 毅)
ローランド (7944) 東証1部 3,500円	20年12月期通期決算は前年同期比1.3増収、35.0%営業増益、63.6%最終増益だった。コロナによる店舗の休業や工場休止の影響があったものの、巣ごもり需要により楽器需要が顕在化。特にオンライン販売に適した電子楽器需要が増加し海外市場がけん引した。21年は日本が増収に回復する見通しのほか、北米、欧州は安定的に成長、中国は大幅な回復を見込み、サブスクリプションサービスのローランドクラウド会員数増加も合わせて3期連続の過去最高売上更新を計画している。(志田 憲太郎)
プティックス (9272) 東証マザーズ 2,862円	介護事業者向けM&A仲介事業の伸びがけん引し、21年3月期3Q決算は前年同期比3.8%増収、黒字転換。新型コロナウイルスの感染拡大が抑制されたことで、3Qの介護事業者向け展示会事業は前年同期比2.6%減収、9.0%減益ながら黒字を確保。M&A仲介は人員増により成約組数・金額ともに順調に拡大し、3Qは前年同期比74.3%増収、160.3%増益。介護業界のM&Aニーズは増大傾向で、来期もM&A事業の拡大が期待される。(松本 直志)

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巣鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巣鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大1.1990% (ただし約定代金230,000円以下の場合は最大2,750円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室